

令和5年度 国際科の自己評価、学校関係者評価について

＜自己評価＞

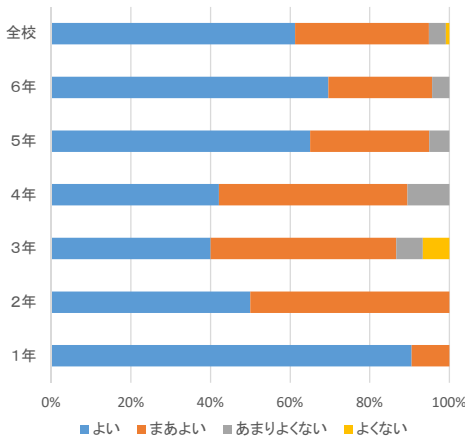
- ・児童は9割以上、学校関係者は7割以上が肯定的評価であった。前期と比して児童が微減、学校関係者は増加した。
- ・児童相互のコミュニケーション活動をさらに推進していく。
- ・学校関係者から、授業の様子を見たいとの要望があり、学校運営協議会の授業参観時に機会を設けたところ好評であった。
- ・授業や国際交流会以外でも、外国の文化や人に興味関心がもてるような働き掛けをしていく。

＜児童アンケートの結果＞

外国のことに関心を持ち、国際科で友達や先生方と関わることができましたか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	全校%
よい	19	9	6	8	13	16	71	61.2%
まあよい	2	9	7	9	6	6	39	33.6%
あまりよくない	0	0	1	2	1	1	5	4.3%
よくない	0	0	1	0	0	0	1	0.9%
計	21	18	15	19	20	23	116	116
	前期				後期			
	95.6%				94.8%			

外国のことに関心を持ち、国際科で友達や先生方と関わった。



＜学校関係者アンケートの結果＞

児童は、外国のことに関心を持ち、国際科の学習に進んで取り組んでいますか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	全校%
よい	7	6	7	9	7	4	40	34.5%
まあよい	6	5	8	6	11	10	46	39.7%
あまりよくない	2	3	3	3	3	6	20	17.2%
よくない	2	2	1	1	2	2	10	8.6%
計	17	16	19	19	23	22	116	116
	前期				後期			
	69.9%				74.1%			

外国に興味を持ち、国際科の学習に意欲的に取り組む。

